

教育到達目標と評価のイメージ

材料工学（2年）

	これまでに開講されている科目との相関	コア	
中間・期末試験による評価（70%）	基礎材料学の理解（10%） 平衡状態図 塑性変形と強化法 拡散現象	基礎：材料の変化と構造（40%） 材料の製造と加工 熱処理 時効処理	発展：実用材料（20%） 構造用鋼 工具鋼 非鉄金属材料
アクティブラーニング（30%）		レポート：材料の実用処理（20%） 材料加工と熱処理	レポート：実用材料（10%） 実用材料の機能と用途例

今後関連する科目

- ・ 先端機能材料学
- ・ 材料評価
- ・ 材料強度学
- ・ 機械工学実験2